

とりまとめ総括

- ・2025年の病床数の必要量と2025年に向けた医療機能ごとの病床数との比較では、病床総数は215床過剰であり、全体的なスケールダウンが必要である。
- ・定量的基準導入後の各医療機能の充足状況を見ると、高度急性期機能のみ不足であることから、合意とする。
- ・合意としない急性期・地域急性期・回復期・慢性期病床については、毎年度、協議を繰り返していく中で合意を図っていくこととする。

2017年病床機能報告(アンケート調査反映後)						
医療機関名	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・無回答等	計
尾鷲総合病院		199		56		255
紀南病院	5	135	100			240
長島回生病院		27		47		74
第一病院				258	24	282
大石産婦人科医院		7				7
医療法人玉鷲会 玉置眼科		8				8
計	5	376	100	361	24	866

2025年に向けた役割・医療機能ごとの病床数						
担うべき医療機関としての役割	医療機能ごとの病床数					介護保険施設等に移行
	高度急性期	急性期	地域急性期	回復期	慢性期	
急性期医療や救急医療の中心的な役割を担うとともに、回復期機能についても一定の役割を担う。また、地域包括ケアシステムの構築に関しても、地域の関係機関と連携し、基幹病院としての役割をはたすとともに、へき地医療拠点病院や災害拠点病院としての役割も担う。 <input checked="" type="checkbox"/> 救急 <input type="checkbox"/> 小児 <input type="checkbox"/> 周産期 <input checked="" type="checkbox"/> 災害		(109)	(90)		(56)	
急性期医療・救急医療から回復期機能までの中心的な役割を担うとともに、地域包括ケアシステムの構築に関しても、地域の関係機関と連携し、基幹病院としての役割をはたす。また、へき地医療拠点病院や災害拠点病院としての役割をはたす。 <input checked="" type="checkbox"/> 救急 <input type="checkbox"/> 小児 <input checked="" type="checkbox"/> 周産期 <input checked="" type="checkbox"/> 災害	5	(135)	(60)	(40)		
近隣20km圏内に一般病床を保有する病院は他にないため、引き続き急性期機能を担うとともに、地域への流入患者の受入先として慢性期医療の役割を果たす。			(27)		(47)	
在宅・介護施設での療養が困難又は急性期治療を終えた患者の受入先として、慢性期機能を担う。					(192)	90
産婦人科を標榜し、①専門医療を担って病院の役割を補完する機能、②緊急時に対応する機能を担う。			(7)			
眼科を標榜し、専門医療を担って病院の役割を補完する機能を担う。			(8)			
計	5	244	192	40	295	90

(計)

2025年の病床数の必要量	29	122	174	236	561
2025年の病床数の必要量と2025年に向けた医療機能ごとの病床数との差	-24	122	58	59	215
協議を継続することとした病床数	0	244	192	40	295